



133
No.

2005.4.1

青山クリエ

発行:青山学院女子短期大学 〒150-8366 渋谷区渋谷4-4-25 Tel.03-3409-8111
http://www.luce.aoyama.ac.jp

AOYAMA GAKUIN WOMEN'S JUNIOR COLLEGE

クリエは(Courier)はフランス語で「使者」、「定期便」を意味し、英語ではCourierと綴ります。本学の広報誌として、4月、7月、12月、3月の年4回発行されています。青山クリエは本学のホームページからもご覧いただけます。

CONTENTS

Front-Page Message
巻頭言「大学で何を学ぶか」前之園幸一郎
「学生時代に何を学ぶか」谷本信也 1

Topics
新年度特集「学科で何を学ぶか」 2-3

Campus Report
学生サービス案内～事務室サービスを活用しよう～ 4
キリスト教活動のご案内・図書館の利用案内・マルチメディア教室 5
キャンパスニュース～学生会・クラブ紹介～ 6
新任の先生・学生相談室・保健室 7
進路特集～私の就職活動～ 8
進路特集～私の編入体験記～ 9

Voices&Echoes
わたしの学生時代 10
シリーズ「卒業生はいま」 11

Bulletin Board
行事予定 他 12

大学で何を学ぶか

学長 前之園 幸一郎

ご入学おめでとうございます。希望に燃える皆さんの学生生活がいよいよ始まります。これから2年ないし3年間の本学における皆さんの大学生活を充実したものとするために気をつけて欲しいことが三つあります。その第一は、本学がキリスト教信仰にもとづく学校として130年前の1874年（明治7年）に誕生したことです。その伝統の上に本学の教育の基本は「神の前に真実に生き 真理を謙虚に追求」（青山学院教育方針）することにおかれています。この教育方針の意味とキリスト教についてじっくりと考えてみてください。二つ目には、大学における学び方の特質についてです。高等学校までの教育では、与えられる知識をできるだけ効率的に吸収し確実に記憶することが重要でした。それは自己の興味の有無に関わらず教科書知識をひたすら傍観者的に受け入れることを意味しています。これに対して大学で学ぶ学び方の特徴は、自分の知的関心を中心にして対象となる知識と自分自身とを関連づけながら自分の問題として考えるところにあります。学問とは学び知ることだと言われます。学んだ知識や経験した内容を皆さんの内面の思考の座標軸に自覚的に位置づけることによって「知識の構造化」が生みだされます。それこそまさに血の通った生きた学問的知識と呼べるでしょう。三つ目は、大学が皆さんにとって個性的な自己を形成するための重要な場であり環境であるということについてです。本学ではキャンパスにおける自主的、積極的な行動を通して学生が主体的に自己形成をはかることが重視されています。そのために皆さんには、どんなことに関心を持ち、本当に求めている興味ある問題や課題とは何なのかを自分自身で追究することが求められます。そこで、皆さんは、自分自身と自己の課題を自覚的に発見するために、たえず好奇心を目覚めた状態にしておくことが必要となります。以上の三点に留意して新入生の皆さんが本学で充実した学生生活を享受されることを祈っております。



学生時代に何を学ぶか

副学長 谷本 信也



本学は今年55周年を迎えます。記録によれば初期の学生は卒業後就職をせず自宅に戻られたようです。30年程前は、学校推薦を受けた学生が10月初めに解禁となる採用試験を受け、11月にはほとんどの2年生の就職先が決まっている時代でした。入学時の就職希望者が40%を割るという今、学生の皆さんの将来の展望も各人様々であり、本学もその多様な希望に合うように教育内容を合わせていく努力を行っております。

今の学生の皆さんは大変だろうと感じています。みんなが同様に、あふれる程の物・情報に取り囲まれそれが関連付けられずに受容されるのみなので、かえって自分の周りがはっきりせず自分もわからなくなっているように見受けられます。自分の生活がどれほど周りによって支えられているかのイメージが持ちにくくなっているように思われます。一方で、個性的で自分らしさを出すように追いやられているようにも見受けられます。自分は自分で作るものです。自分はどこかに見つかるものではありません。また短大2年間の間に作れるものでもありません。長い時間をかけて社会との関わりの中で作られてゆくものです。学生時代に何を学ぶかも実はここにあります。本学院の教育方針には、「真理を謙虚に追求し 愛と奉仕の精神をもって すべての人と社会とに対する責任を 進んで果たす人間の形成を目的とする」とあります。何を学ぶかの究極のゴールは自分という人間の形成にあるといえましょう。本学の教育理念は、「社会のあらゆる局面で積極的な貢献をなし得る覚醒した女性の育成を目指し」、「全人的で世界的な視野に立つ高度な教養教育を授ける」とされています。皆さんは特定の学科に所属し自分なりに学びたい科目を選択履修されるわけですが、それらの内容は相互に異なるものではありません。必ず何かで関連しています。それを見つけ関連付けてください。それは単に授業内容だけに留まりません。周りとの交わりや社会の中から学びとったものも授業内容と関連させて再度組み立て直し、これらによって単に特定の学問領域の造詣を深めるだけでなく、自分を理解すると同時にこれからの長い人生の基礎となる自分を作り謙虚に改め続け、覚醒した女性を目指してください。

新年度特集

学科で何を学ぶか

新年度を迎えました。新入生はどのような希望を抱き、本学に入学したのでしょうか。

2年生、専攻科生は、新たな学びに期待を寄せていることでしょう。

クーリエでは、各学科の先生方に、学生に学んでほしいことについて寄稿してもらいました。

国文学科

○今の国文学科では、以前と違っていろいろな科目が並んでいて、かなり自由に取ることができます。ジャーナリズム論、メディア論、編集

の実際、実践話術、創作小説、国文学実地研究など、以前にはなかった科目です。古典文学や近代文学関係、日本語学関係など、必ず取らなければ卒業できなかった時代は去りました。これはこれでよいことだと思います。

○だけど皆さん、すぐに国文学科卒業ということになるわけで、これはずーっと皆さんについてまわります。だから、次のことに気をつけてください。

○有名な近代小説や源氏物語のような世界的な古典を、ほとんど読んだこともなければ、内容も知らない、また敬語なども使えないし、日本語の仕組みなどまったくわからないというのでは、いつかどこかで、必ず恥ずかしい目に会うでしょう。

○社会で活躍する人たちは、男女を問わず、必ず読書をし、書くことを



藤本 勝義

習慣にしています。読むことも書くことも、どちらも「考えること」なのです。難しい仕事に従事している人には、軽い読み物が仕事への活力を与えるし、事務的な仕事の繰り返しだと思っている人には、少しコクのある、人生を真剣に見つめるような読み物が、明日への糧(かて)となるでしょう。

○やはり読んだり書いたりすることは、習慣化する必要があります。長い通学時間、電車で座れば、すぐ文庫本を読もう。

○若い女子学生へお薦めの本を少しあげてみますね。短編を中心に、内外とりまぜました。ほとんどは文庫に入っています。『戦後短編小説再発見①青春の光と影』『同 ②さまざまな恋愛』『狭き門』『若きウェルテルの悩み』『スタインベック短編集』『はつ恋』(ツルゲーネフ)『みづづれ』『ふなうた』(三浦哲郎)『ライ麦畑でつかまえて』『ナイン・ストーリーズ』(サリンジャー)『蹴りたい背中』『マディソン郡の橋』『超短編アンソロジー』

英文学科

新入生の皆さんは期待に胸を躍らせながら、一抹の不安も感じていることでしょう。2年生は学校生活にはすっかり慣れていていると思いますが、今年度は就職や編入などのことも頑張らなければなりません。

さて、英文学科は英文学専攻と英語学専攻に分かれています。両専攻とも英語の運用能力を高めながら、英文学専攻では英米の文学を、英語学専攻では英米の文化を中心とする専門領域の研究に取り組むことになります。1年次は運用能力に、2年次は専門領域の研究に重きが置かれています。

英語の運用能力を高めるには、まず一生懸命に予習をして授業を受けることが大切ですが、自分で努力することも必要です。英語を「聞く・話す・読む・書く」のいずれに関しても、その基になっているのは語彙力と文法の知識です。この2つの力をできるだけ身に付けてく



高野 嘉明

ださい。単語を覚える時は、単語集を丸暗記するより、読んだ英文の中に出てきた未知の単語や記憶があやふやな単語を、文脈の中で覚えるのが最も効果的でしょう。文法力を身に付ける時は、ばらばらの知識ではなく、文法を体系的に理解して覚えるように心掛けてください。それには問題集よりは、薄いものでかまいませんので、参考書を何度か読んで覚えるほうが効果的でしょう。

専門領域の研究に関しては、英文学科の学生なので、もちろん英米の文学や文化について一生懸命に授業を受けて真剣に学ばなければなりません。外国人とのコミュニケーションということになると、むしろ日本の文学や文化・社会、政治・経済のことを聞かれることが多いです。それについて答える必要性が出てきます。

これに関しては、主題科目や他学科の専門教育科目を進んで履修したり、自分でいろいろな書物を読んだりして必要な知識を身に付け、一般的な質問に対してならさっと答えられるようになってください。

家政学科

ご入学おめでとうございます。皆さんは、今日から始まる、喜び・希望・そして向学心に満ち溢れたキャンパス生活を想像してわくわくしたり、ちょっと不安になったりしている事と思います。入学試験

の面接で「家政学科に入学できたら何を学びたいですか」という質問に対して、受験生の多くは「衣・食・住に関して広く学びたいです。」と答えました。確かに、衣・食・住という生活の基盤になる事柄を学び、健康で快適な生活を

目指して、いわば生活技術を取得することは大切です。しかし、そのような生活技術だけにとどまらず、文化や環境や社会システムと生活とのかかわりを多角的に捕らえることができ、また、人間として、地球上に生きている一員として、生

活者として、今、何が大切か、何をすべきか、というような新たな価値判断ができるように、目標をもって多くの事を学んでいただきたいと、思います。家政学科にはそのような知識を育み、自らのライフスタ



渡部 徳子

ルを確立できるよう、多彩な授業科目が揃っています。目標を達成できるか否かは、皆さんの努力次第であることを忘れないでください。自分自身の学生時代を振り返り、そして大学で多くの学生さん達と接してきた経験を踏まえて、次のメッセージをおくります。私の好きな歌のひとつで、ジョン レノンの "How?"^{**}です。

How can I go forward, when I don't know
which way I'm facing?

How can I go forward, when I don't know
which way to turn?

How can I go forward into something
I'm not sure of? Oh no, oh no.

大学生として勉学をはじめるとあって、自分の向かうべき道や曲がり角を見極め、確信を持てるよう努力をしつつ、先に進んでほしいと思います。



青山学院スクール・モットー

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

(マタイによる福音書 第5章13~16節 より)



青山学院女子短期大学エンブレム

児童教育学科

「こん日ほど、多くの人々が子どもの教育と生活について関心を示した時代はない。しかし子どもたちは、変動する社会と文化の流れの中にその身と心をさらしている。子どもたちのいのちを尊び、そのまことの幸福を希いつつ、新しい子どもの教育と文化を創り出そうとする力がもっと強められなければならない。無限の可能性をうちに秘めている子どもたちにこそ、私たちの社会の未来がかけられているのだから。」

これは、児童教育学科開設にあたって各高等学校へ送られた進学案内に記された言葉です。これは今もそのまま学科の教育理念として受け継がれています。

そのときから数えて、この4月の新入生は44期生です。新1年生ばかりでなく2年生・専攻科生の方も、2005年度の新学期をどのように迎えていらっしゃるでしょうか。

児童教育学科では、教育・心理・福祉などの理論的な科目ばかりでな



志賀 智江

く、文学・音楽・美術など広範囲にわたる科目で構成され、講義による授業ばかりでなく、少人数制のゼミや作品製作など、発表や創造・製作の機会を重視しています。そこでは、学生の意欲的な取り組みが必要であり、学術的な思考力や個性豊かな創造力・表現力を培うことが期待されています。

また、多方面の学科目編成のため、多忙なキャンパスライフですが、礼拝出席やクラブ活動・学友会活動にも意欲的に参加してみてください。教員との交流や短大図書館の活用はもとより、大学生としての学究の機会やいろいろなものへの挑戦の機会を最大限に生かしていただきたいと思います。人生80年のあと60年をどう生きるかはみなさん一人ひとりにかかっています。ここでの2年間(または3年間)は、そのための土台となり、手がかりとなる大切なときとなることでしょう。

教養学科

教養学科で学ぶものは「教養」である。それでは、「教養」とは何か? 『広辞苑』では、「教養」は、「単なる学殖・多識とは異なり、一定の文化理想を体得し、それによって個人が身につけた創造的な理解力や知識」と説明されている。そして、皆さんがすでに見たであろう教養学科の進学案内などには、「広い視野と優れた判断力を持つことによって、建設的な思考を育成することが教養学科の目標です。…多彩な知識をバランス良く偏らずに学ぶこと、…色々な専門分野のテーマを融合させ、総合的に判断する学力が必要で、単なる物知りでなく、批判的かつ建設的にものを考え、有能な人となって働くための基礎が、教養です」と書いてある。

これらの要請に応えるために、教養学科の授業科目は、思想と文化、社会と人間形成、科学と生活環境、といった3分野に編成されている。これらの分野の多様な科目を学び、さらに、英語だけでなく、フランス語、



渡邊 良智

ドイツ語、中国語、韓国語などの外国語を学ぶことで、教養の基礎である幅広い知識が獲得できる。そして現代人に必須のツールであるコンピューターについても学ぶ。

だが、幅広い知識だけでは、不十分である。そこで教養学科の主要科目として、18の専門科目の演習が設けられている。演習では、学生があるテーマについて調べて、それをレポートとして発表する。レポーター以外の者もディスカッションに積極的に参加して、問題意識を共有する。こうして、判断力や批判力が養われていく。さらに、演習のまとめとして、学生自身でテーマを見出し、仮説を設定し、関連するデータを収集し、分析し、結論を出す作業をおこなって、卒業論文を作成する。

『新明解国語辞典』によれば、「教養」とは、「文化に関する、広い知識を身につけることによって養われる心の豊かさ・たしなみ」である。結局、個人の人間性を養い、心を豊かにするものが、教養なのである。

芸術学科

芸術学科御入学おめでとうございます。大学での学生生活を様々な希望と期待を抱いて始めようとしている皆様に、芸術学科での2年がそれぞれの人生にとって有意義なものでありますように祈ります。僅か2年間と現在ではお思いでしょうが、学生生活の過ごし方によってその意味は全く異なったものになります。大学生の在り方として①自己の視点、立脚点を明確にすること、つまり“自己の確立”そして次に②出来る限り広い視野で物事をみること、つまり自己の枠を打ち破って他者を受け入れること、③情報に振り廻されず、不可欠な情報を選択し、自分の行為について適格な判断をすること、を目標してほしいと思います。

芸術学科は今年から一般入試でデッサンでの受験生に加えて他学科共通の学科受験生、芸術学科を第二希望とする学生も受け入れ、その意味では多様性ある学生編成になりました。その多様性を様々な面で積極的に活用していきたいと思っています。



橋本 典子

芸術学科全体は「芸術人間学」に始まり、芸術について様々なことを学び、卒業時に芸術人間学をそれぞれの意味で完成するようになっています。1年生では「構成1」の前期で絵画、彫刻、デザインを経験し、後期で織を加えた4部門から2つを選んで学びます。同時に学科目では西洋美術史、美学・美術史演習が必修になっており、実技と学科をバランス良く学べるように計画されています。これらを基に2年生になって何を卒業研究として学ぶかを決定することになります。芸術学科は自分の選択した分野では内容的深さを要求しますし、すべての芸術は連関しますので同時に傑作を見たり知的に学んだり広い視野での勉強も要求します。

芸術の魅力は無限で、作品を通してその時代、人々が何を問題にしたのか、そして現代芸術からは我々自身の生き方までみえてきます。僅か50人弱の学科ですが、互いに学問的に刺激し合いながら充実した学生生活を送りましょう。

学生サービス案内

事務室サービスを活用しよう

本館1階の事務室には、学生課・教務課・庶務課があります。それぞれの課で行われる学生サービスをご案内します。

学生課学生生活係

学友会クラブや委員会で活動したい、青山祭(学園祭)のステージにでたい。皆さん、大学では勉強以外にもやりたいことがあることでしょう。また、クラブに入らなかったとしても、学生生活では今までと違い、色々わからないことや困ったことも出てきます。

そんな時、学生生活全般についての疑問に答え、学友会クラブをはじめとする皆さんの自主的活動をサポートするのが学生生活係です。

クラブの教室使用手続きから、「有志で音楽会を開きたい」「青山祭で売るケーキは何味がいいか?」まで、色々な相談に応じています。皆さん全員が楽しく安全な学生生活を送れるよう、お手伝いをしますので、どんな小さなことでも相談にきてください。

最後をお願いします。住所が変わったら、必ず変更を学生生活係へ届けてください。特に市区町村合併などで住所表示が変わる場合は忘れがちです。注意してください。(次号のクーリエが届かなくなりますよ!)

学生課厚生係

○学生証に関するトラブル

学生証紛失時の再発行。学生情報端末・証明書自動発行機等が使用できない場合の調査、再発行を行います。

○通学証明書・JRの学割証・健康診断証明書の発行

バスの定期購入に必要な「通学証明書」は窓口で発行します。(電車の定期は学生証で購入可能)「学割」(旅行などでJR片道100kmを超えて利用する場合)・「健康診断証明書」は証明書自動発行機をご利用ください。

○経済的支援

日本学生支援機構や万代奨学金等、奨学金に関する業務を行います。家計の急変に対応できる奨学金や、緊急時に即日交付される「短期貸付金」(上限20,000円)の制度もあります。

○遺失物・盗難・アルバイト紹介

落し物は、学生課に届きます。テキスト、電子辞書等は同じ物を複数の方が持っていますので、所持品には必ず記名しておきましょう。盗難には各自注意し、万一被害にあった時は届けてください。また、アルバイト募集は厚生係掲示板でお知らせしています。

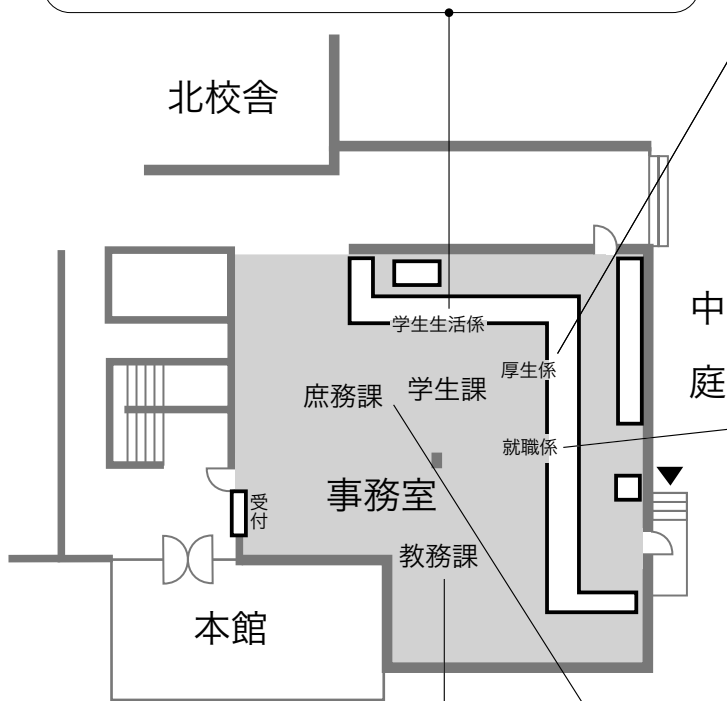
学生課就職係

新しい生活が始まったばかりですが、進路について具体的に考える始める時期がまもなくやってきます。卒業後の進路も視野に入れつつ、学生生活を乗り多いためにしてください。ここでは、就職に関する相談・質問を随時受け付けています。また卒業生の進路先一覧・企業ごとの就職者一覧などを調べることが可能です。



○その他の就職資料・施設

本館2階 求人票・ポスター掲示板	求人票やポスター、合同説明会の案内などが掲示されています。
研究館2階 就職資料室 (L206)	企業のパンフレット、公務員募集要項、先輩の就職体験記、就業状況調査、内定企業入社試験報告書、企業別の資料をまとめたファイル、県別の求人票一覧、寮のある企業一覧など、企業を調べる際に必要な資料がそろっています。コピー機も設置されています。



教務課

教務課は皆さんが授業に出席し、試験を受けて単位を修得し、卒業するまで関わっていく部署です。学生の皆さんに直接関係する項目として、授業時間割作成、履修登録、授業運営、定期試験、各種証明書発行、成績管理などを行っています。これらに関係することで質問や疑問がありましたら遠慮なく教務課窓口を訪ねてください。その他、病気で長期欠席になりそうな場合、先生と連絡を取りたい、病気で定期試験を欠席してしまい追試験を受けたいなど、授業に関わることならなんでも構いません。

また教務課から皆さんに連絡を取りたいときや、必要な情報を伝達するときには、学生情報端末を利用しています。登校したとき、昼休み、下校時に必ず見る習慣を付けるようにしてください。

庶務課施設担当

本学の施設・設備・備品等の管理を行っています。教室機材の使い方についての問い合わせや、学校の備品(ワイヤレスマイク・看板等)を借りたい場合は、お申し出ください。また、夏期休暇中には本学の教育厚生施設である中軽井沢寮利用の受付も行います。詳細は看板・掲示でお知らせすると同時に、次号クーリエでご案内する予定です。

キリスト教活動のご案内

2005年度 のテーマ

「ともに生きる Living Together」

「何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。」
ペトロの手紙Ⅱ 4章8節

青山学院はキリスト教信仰に基づいて建てられ、支えられてきた学校です。初めてキリスト教に接する新生生の皆さん、是非、礼拝や学生活動に参加して経験してみてください。また、今までキリスト教学校で学んできた新生生と在校生の皆さん、きっとあらたな出会いがあるはずです。

<礼拝>

日時:毎週、月・水・金 12:30~13:00 場所:短大礼拝堂(北校舎1階ギャラリー隣)

学内の先生や、近隣や関係の深い教会の先生方が、お話をさせていただきます。お一人で、あるいはお友達と誘い合って、足を運んでみてください。勇気や力が与えられたり、新しい視点をもつことができたり、心が穏やかになったり、皆さん一人一人にとって、大切なひとときとなることでしょう。



宗教センター合同交流会

どんな方がどんなお話をするか、「礼拝案内」の掲示や、「週報」(北・南校舎それぞれの入り口付近のスタンドに設置)でご確認ください。

一特別礼拝一

◎宗教講演 5月25日(水) 12:30~13:25 鈴木有郷先生(前本学院宗教部長)

◎創立記念礼拝 11月14日(月) 12:30~13:00

◎クリスマス礼拝 12月21日(水) 13:00~14:30 詳細は追ってお知らせします。

このほか、英語礼拝や教会附属幼稚園の先生による礼拝、学生による礼拝など、特色ある礼拝も行おう予定です。

<学生活動>

一宗教活動委員会一

夏と冬のキャンプ、青山祭、クリスマス行事、コンサート、大学との交流会など、宗教行事の企画・運営などをします。どんなことをしているのか興味がある人は、是非、春の研修・親睦会に参加してみてください。申込は短大宗教活動センターまで

◎春の研修・親睦会

日時:4月23日(土) 10:00~15:00

場所:短大礼拝堂ほか

一宗教活動センターのクラブ一

宗教活動に関する3つのクラブがあり、礼拝や諸行事での奉仕や発表を行っています。専門家のご指導もあります。一度、是非、見学に来てみてください。練習日は下記のとおりです。

◎聖歌隊

毎週(木) 昼休み、(金) 17:50~19:00 短大礼拝堂にて

◎ハンドベル・クワイア

毎週(月)(金)

18:00~19:30

N104教室にて

◎ゴスペル・グループ

毎週(火) 昼休み

短大礼拝堂

またはN104教室にて



ゴスペルグループ練習の一コマ

一聖書を学ぼう一

◎English Bible Club

毎週(木) 昼休み A300教室

学内のネイティブの先生方と、日英韓の3カ国語で記された小冊子を用い、聖書の世界に触れます。

◎聖書研究会

宗教主任の伊藤勝啓先生と一緒に聖書を読みます。

問合せ先

短大宗教活動センター(北校舎1階ギャラリー隣)

開室時間(月~金) 9:00~17:00

TEL:03-3409-7120

図書館の利用案内

図書館に入るとすぐ右壁側、ガラスケースに展示されている新着図書コーナーがあります。これは図書館に新しく受け入れた図書を一定期間展示しておく場所です。利用を希望される方には貸出も行なっています。この他、一階閲覧室には二つの展示ケースを置いてテーマを決め、所蔵している図書を紹介しています。

今回は、日本と西洋の児童文学書の初版本(複製)の展示をしています。長い間子供たちに愛され続けた絵本や児童書は、繊細で柔らかく美しい色彩の挿絵や装丁がほどこされ、当時の特長も見られます。皆さんも、懐かしさや温かさを感じる事ができるでしょう。この展示ケースの中の児童書も貸出をしています。

図書館を利用するには、書庫を歩いてお気に入りの作家が意外な本を書いていた事など、新しい発見をするのも楽しいものですが、レポートを書いたり、勉強に必要な図書を効率よく探す場合には、カウンターの前に並んでいるOPAC(所蔵検索目録)をご利用ください。短大図書館、大学図書館(青山、相模原)の蔵書を同時に検索することができるので大変便利です。

書架から図書を選びカウンターで学生証と一緒に差し出せば、すぐに貸出は完了です。また、借りたい図書が貸出中の場合は、予約をすることもできます。読みたい図書が他キャンパスにあるときは取り寄せもでき、借りている図書をもう少し続けて利用したい場合は、貸出期間の延長をすることもできます。

この他図書館では、図書の検索方法を始め館内ツアーや各種オリエンテーションを行なっています。分からないことや疑問に思うことがありましたら、いつでも気軽に図書館員に声をかけてください。

(図書館 閲覧係)



マルチメディア教室・情報処理実習室

● 本学にはパソコンを利用できる教室が4室あります。
● 一般的なワープロ、インターネット(電子メール)などのほかに、TOEICテスト対策やキーボードトレーニングなどの自習ソフトなども利用できます。授業で使われていない時は、自由に利用することができます。

● 利用するためには利用承認書が必要です。初回利用時、関連授業受講者は授業担当者から、それ以外の学生は窓口で利用承認書を受け取って、パスワードを設定してください。教育メディア運用室は、南校舎3階の奥にあります。利用上わからないこと、困ったことは、遠慮なくご相談ください。

● みなさんに最新のソフトウェアを利用していただけるよう、夏期休暇中に機器を入れ替え、後期からは新しい設備になります。夏期休暇中、入れ替え作業により、施設の利用日時や利用方法等に変更が生じます。夏休み前に教育メディア運用室掲示板(南館3階)で予定をお知らせします。



Campus News
キャンパスニュース
 Campus News

学友会

学友会会長 正田 明日香 (家政学科2年)

新入生の皆様、御入学おめでとうございます。これから始まる学生生活を前に、夢や期待に胸を膨らませていることでしょう。大学は自分の意志により色々な方向に進めるといふ無限の可能性を秘めています。また、自ら積極的に行動範囲を広げることで多くの人と出会い、たくさんの経験を得ることができます。



さて、私達学友会本部は学生の自治、学生生活の向上を目的として様々な活動を行っております。新入生歓迎会をはじめとし、交流を深めるためのグリーンパーティーやスポーツを楽しむ秋期プレイデー、クリスマスパーティーなど、皆さんに楽しんでいただけるようなイベントを企画し運営しております。また、本学だけの活動にとどまらず、他大学と交流させていただくことによって多くの意見を吸収して、より一層の向上を目指しております。

今年度も私達学友会本部は、様々な企画を予定しておりますので、皆さんも是非イベントに足を運んでいただければと思います。

そして、二年間という短い時間ですが、一日一日を大切に過ごし、有意義で実りある大学生活を送られることを心より願っております。

放送研究部

～学友会行事や青山祭での活躍が認められ、2004年度
 青山学院女子短期大学特別奨学金が授与されました～

私たち放送研究部は、普段週1～2回の活動でTOKYO-FM認定のDJライセンス及びミキサー&ディレクターライセンス取得のためのアナウンス練習・機材練習、番組発表会のためのDJ・ラジオドラマ・映像作品の制作などを行っています。

さらに池袋にあるアムトラックストヨタのB1階DJブースにおいて、何ヶ月かに一度DJ番組を発表したりしています。

2005年度は、5月に青山学院大学のアナウンス研究会・放送研究部の2団体と合同で番組発表会を開く予定です。さらに6月には、他の3大学の放送系サークルと合同で番組発表会を予定しています。

短大内でも春のつどい・グリーンパーティーなどで機材担当としてお手伝いさせていただく予定です。



クラブ紹介 学友会公認クラブ

クラブや委員会に参加して、学生生活をさらに充実したものに!!
 詳しくは、『あおやま』(学友会あおやま編集委員会発行)を読んでもください。

文化団体連合会

部 名	顧問の先生
オーディオ・ビジュアル研究部	休 部
グロリアス・クワイヤ	休 部
女声合唱団	休 部
オラトリオ・ソサエティ	加納孝代
オーケストラ部	鈴木律子
プレクトラム研究部	休 部
箏曲部	石井孝彦
演劇研究部	休 部
歌舞伎研究部	鹿倉秀典
写真真部	奥村健一
E・S・S	J.R.フィリップス
児童研究部	休 部
茶道部	志賀智江
クッキング部	松本美鈴
華道部	山田美穂子
書道研究部	鈴木律子
美術部	久保制一
手工芸部	休 部
放送研究部	高橋俊行
軽音楽部 A M E M I N	輪島達郎
あおやまボランティアワーク	今関公雄
旅の会	休 部
漫画研究会	鈴木すゝ江
映画研究会	栗坪良樹
国際交流部	関谷雄一
グリーンハーモニー合唱団	宮田雅智
狂言研究部	岡崎和夫
文芸部	栗坪良樹

体育団体連合会

部 名	顧問の先生
バトミントン部	藤本勝義
卓球部	休 部
ワンダー・フォーゲル部	休 部
軟式庭球部	休 部
硬式庭球部	松村伸一
ダンス部	森下春枝
バスケットボール部	大谷康晴
バレーボール部	高野嘉明
ラクロス部	松村伸一
スキー部	休 部
フットサル同好会	関谷雄一

進路特集

私の就職活動

日本銀行 高安 美樹さん(2005年3月 教養学科卒業)



今、自分の就職活動を振り返るとその時期が自分を見つめ直し、また一番成長した時だと思えます。またこの時期は普段では接する機会のない多くの会社と出会えるすばらしい時期でした。私は少しでも興味がある会社ならどんどん説明会に参加して、社会への視野を広げることができたのではないかと思います。そして多くの会社説明会に参加することが結果的に自己分析に繋がりました。自分がどのような仕事に興味があり、実はどんな仕事が自分の性格に合っているのかを説明会などで肌で感じることができたからです。

時には、原点に戻って就職することさえ間違っているような気もしました。しかし、正しい答えは誰にもわからないし、それは自分の問題で、たとえ間違ってもまたやり直す機会もあると少し楽観的に考えるようにしました。プレッシャーに押し潰されて、もやもや悩んでいても、結局、就職活動はプラスには進まないからです。多くの企業にエントリーした場合、どこの企業が説明会予約開始、ES(エントリーシート)提出締切りなのかなどを把握しなくてはならなかったので、スケジュール管理に気をつけました。そこで就職活動ノートを作り、自分の行きたい会社の締切りが過ぎて選考に参加できないという失敗は避けるようにしました。このノートにはエントリーした会社の説明会予約、ES提出締切りや説明会に参加した時の感想などを書き留めました。

また私は企業に提出したES、履歴書はコピーをとってファイルし何度も見直しました。日にちがたってしばらくしてから見直すといろいろ改善点が見つかるはずです。それを次の企業に活かすようにしていました。面接ではありのままの自分を出しました。自分を大きく見せるようなことはせずに、たとえ小さなことでも成長した点やそこから何を思ったのかを自分の言葉で言えるようにしました。「面接」というと堅苦しいですが人事の方との「会話=コミュニケーション」と思い面接に臨んでいました。やはり、社会に出る上でコミュニケーション能力はとても重要であると思うからです。

(1年生)

10~12月	1~3月
11月 リクルートスーツ購入	1月 エントリーをたくさんする(40社)
12月 某銀行説明会参加(初) リクナビ・毎日ナビ登録	2月 会社説明会参加(週2・3回)
	2月後半 面接体験(初)
	3月前半 エントリーした会社の
	3月後半 おわれる
	エントリーシート提出に

(2年生)

4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
4月前半 エントリーした会社の 一次試験などで忙しい	5月 内々定	10月 日本銀行 内定式	2月 健康診断
4月後半 日本銀行にて筆記試験	5月 懇談会 日本銀行・内々定者の		
面接 →			

東京都公務員 高安 裕子さん(2005年3月 専攻科家政専攻修了)



就職について意識し始めたのは、2年生の4月くらいです。といっても、もともと専攻科に進学することを考えていたので、来年のための練習くらいの軽い気持ちで就職活動を始めました。しかし、この就職活動により、自分自身と向き合うよい機会を得ました。

メーカーをはじめ、サービス業など、色々なセミナーに参加しましたが、どの企業も魅力的に見えてしまい、業種すら絞れずに夏があつという間に終わってしまいました。もちろん内定はもらえません。原因は自己分析不足です。自分のことなのに興味のあることがよくわからず、会社側に振り回されてしまいました。もっとよく自分を知ってからセミナーに参加するべきだったと思います。

来年にむけて頑張ろう、と思っていたころ、公務員を目指している友達に出会いました。彼女と話すうちに、行政という立場の仕事に大きな魅力を感じるようになりました。特に、経済、環境、福祉など一つの分野に限られず、非常に幅広い範囲にわたって業務があるところは公務員ならではの特徴です。私のように好奇心旺盛な人にはピッタリだ!と思いました。

公務員試験は民間企業とは大きく異なり、筆記試験が大きなウェートを占めます。高校生までに習ったすべての科目が出題され、非常に広範囲に及びます。対策としては、予備校に通いました。面接対策としては、実際に官庁や都庁、市役所などに足を運び、人事の方に職員を紹介してもらい、話を聞かせてもらったり、OG訪問をしました。実際に生の職場を見てみると、パンフレットやホームページではわからないことが沢山見えてきます。自分自身ができること、やりたいことが見えてきました。

公務員試験の最終合格は11月で非常に長期戦でした。勉強に行き詰まり諦めたくなることもありましたが、結果が出たときの充実感は今までに味わったことのないものでした。努力は無駄にならない、ということを実感した一年間でした。

(2年生)

(専攻科生)

4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
4月 就職ガイダンス参加	9月 民間での就活をやめる	10月 専攻科への進学を決意	12月 公務員試験の勉強を始める
4月中旬 セミナー参加			

4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
7月 OG訪問、官庁研究	9月 行き、人事の方に話を聞く (実際に官庁や市役所へ)	10月 最終合格発表	面接がある (配属を決めるための簡単な東京都内定者の集まり)
	9月 国家公務員・地方公務員の1次試験(筆記作文)	11月 2次試験(面接)	内々定 外務省・裁判所からの東京都千代田市・国家川種

私の編入体験記

小川 絢子さん (2005年3月 家政学科卒業)

私が編入を考えたのは青短に入学した時からでした。4年制の大学へ通いたいと思っていたので、短大に入学した時には大学への進学をすでに志望し、2年になってからも就職説明会などにも一度も出席しませんでした。



青短では2年の10月に内部での推薦編入試験があります。編入したいと考える人にはぜひとも受けることをお勧めします。「推薦だけとりあえず受けてみよう」という人も多いですが、一般編入試験ほど倍率も高くないです。私も推薦の試験を受けたのですが、結果は不合格でした。推薦で合格するためには、夏休みの勉強が重要なポイントだと思います。やはり、夏休みの二か月を遊びたい気持ちに負けないで真剣に勉強できた人は合格できていたように思います。推薦と一般では試験範囲が違うので、自分でどうしたらいいかわからない人は予備校などへ行くことも良いと思います。予備校の先生のポイントは的確ですし、周りの受講生に刺激を与えられることも多いです。

私は推薦編入試験の結果が出た後、それまで以上に本気で勉強を始めました。しかし、一般の試験は推薦の試験の何倍もの知識が必要ですし、自分でする勉強の仕方にも不安があったので、秋の講習から予備校に通うことにしました。私には自分がしなければいけないことを与えてくれる予備校のスタイルが合っていたので、もし行っていなかったら今の合格はなかったかもしれないと思うほどです。

私は個人的に経済の先生に質問や面談に行っていました。週一回の面談で課題を出してもらい次の面談までにしていく約束で経済の参考書を三冊仕上げました。予備校の先生がとても熱心な指導をしてくださる方で、私に合った勉強の仕方を考えてくださり、とても感謝しています。私の勉強法は丸暗記のようなものでしたが、勉強した時間と量だけは誰にも負けない、という自信を付けることが出来たと思います。

偉そうには言えませんが、本気でやれば必ず結果はついてくると思います。頑張ってください。応援しています。

(1年生)

(2年生)

4月～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
編入の勉強は特にしていません。授業を真剣に受け		経済学のテキストを勉強 自分で購入したミクロを 勉強 テキスト(マクロ経済学)を 経済の授業で使っている 7月(夏休み)	10月 予備校の資料を使って勉強 マクロ経済学・ミクロ経済学 3つの講習を受けました	1月 再暗記、確認 以前のテキストを使った 過去問は目を通した程度



青山学院大学文学部日本文学科へ推薦編入 佐野 仁美さん (2005年3月 国文学科卒業)

私は、入学当初から編入を考えていました。もともと理系の学校に通っていて、文学にはほとんど触れることなく国文学科に入学してきました。そのため、自分が何に向いているのかを探るという意味で、大学ではなく短大を受験し、最終的には大学に行くという目標がはじめてありました。できれば推薦で青山学院大学にいきたい!と思っていたので、とにかくじめに授業を受けることからはじめました。課題やレポートには積極的に取り組みました。文学の知識がないことに引け目を感じていたこともあって、人よりも何倍もがんばってみんなに追いつける、そういう気持ちでした。でも、高校までの詰込み式の勉強とは違い、語学や文学について調べる作業は楽しく、やらされている感はまったくありませんでした。時間をかけて学んだことは時間がたっても覚えているものです。一年もすればその知識は着実に増えます。その知識は受験勉強の糸口にもなります。2年になると同時に受験勉強を始めました。文学知識のなかった私も、一年間の授業の成果でずいぶん楽に受験勉強に入っていくことができました。家にいるとだらだらしてしまうので、なるべく一限に授業を入れ、空き時間や放課後は図書館で勉強をするというような環境を作る努力もしました。



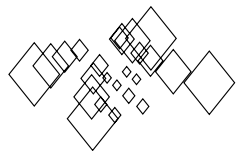
やっけて楽しくないことは続きません。実際私も理系は好きでなかったのですが、工業高専に通っていたときは勉強をしようという気も起きませんでした。卒業しようとも思いませんでした。課題をやるのが楽しくて楽しくて仕方がない、という人はあまりいないかもしれませんが、でも「やるう」と思えば、あなたの勝ちです。やるうという気力さえあれば、必ず道は見えてくるはず。もっと勉強したいと思うのであれば、大学に編入する意義はあると思うし、本気でそう思っていれば自然と勉強もはかどるのではないのでしょうか。推薦も一般受験も楽なものではありません。頑張ってください。

青山学院大学への推薦編入者数 (2005年度) (人)

編入先学部・学科	編入年次	出身学科	志願者	推薦者
文学部	3	児童教育	11	3
教育学科	3	教養	10	2
英文文学科	3	英文	49	10
日本文学科	3	国文	14	3
経済学部	3	国文	1	0
経済学科	3	英文	2	1
	3	家政	5	2
	3	児童教育	0	0
	3	教養	12	7
経営学部	2	家政	2	2
経営学科	2	教養	2	1
国際政治経済学部	2	国文	1	0
国際政治学科	2	英文	4	1
	2	教養	1	0
国際経済学科	2	英文	1	1
	2	教養	1	0
合計			116	33

青山学院大学への一般編入者数 (2005年度) (人)

編入先学部・学科	編入年次	出身学科	志願者	合格者
文学部	2	英文	1	0
教育学科	3	児童教育	2	1
	3	教養	6	3
	2	家政卒	1	0
	3	児童教育卒	1	0
	3	教養卒	1	0
英文文学科	3	英文	41	9
	3	英文卒	1	0
日本文学科	3	国文	19	3
	3	専攻国文	1	0
	3	国文卒	3	0
史学科	2	教養	3	0
心理学科	2	国文	1	0
	2	教養	1	0
	2	英文卒	1	1
	2	教養卒	1	0
経済学部	3	国文	1	0
経済学科	3	英文	4	3
	3	家政	3	2
	3	教養	6	3
文学部第二部	2	児童教育	1	0
教育学科	3	専攻児童教育	1	1
文学部第二部	3	英文	2	0
英文文学科	3	英文卒	2	1
合計			104	27



わたしの学生時代 第2回



歌舞伎と江戸文学

国文学科教授 鹿倉 秀典

私はだいぶ変則的な学生生活を送った。仏教(印度)哲学科に合格したのだが、家庭の事情で断念、秋葉原の電気会社で働いていた。だが、どうしても文学特に演劇学を学びたく、勤務地に近い明治大学の二部文芸学科に進学したのである。

最初は仕事と勉学に勤むだけの毎日だった。でも偶々、某出版社「学生臨時職」となり、時間が得られるようになった。そこで、演劇活動をすべく、サークルを物色した。当時は小劇場全盛で「天井桟敷」や「状況劇場」等が演劇青年の目標となっていた。模倣する劇団も学内に多数あった。私は、特殊な「思想・理論」を共有し一緒に活動する事が好きではない。いずれ「分派」をすするに違いないし「闘争(紛争)」の残滓もあり、もう沢山と感じた。

その内、私は古典芸能の「歌舞伎」を意識し始めた。「西洋演劇理論」に当て嵌まらない日本演劇、そんな風に私は歌舞伎を楽しんだ。西洋化された「眼」での「日本芸能再発見」、歌舞伎座三階や幕見に何度も足を運ぶようになった。

さて「歌舞伎研究会」というサークルがある。各大学によって異なるが、明大は所謂「実演校」だった。歌舞伎に憑かれた私は、入ろうと決めた。当時の研究会は女子学生が多かったので、女形も女性が演じていた。そこへ私は入会、実状を知らないし、僅かな歌舞伎の知識を披露したい気持ちもあったのだと思う。藪蛇の発言、曰く「歌舞伎の特徴というのは、女形ではないでしょうか?」と。当然、先輩達に「お前やれ!」と言われてしまった。後



悔先に立たず、入会した翌年は『鬼一法眼三略巻』(菊畑の段)の公演、私は美しい赤姫の皆鶴姫を演ずることになった。

公演準備では、当時の長谷川大道具を見学、様々な資料を調査、大道具は学生が製作するが、小道具、衣装、髪等は、実際の歌舞伎で用いられるものと同じだった。稽古は中村屋の大番頭、中村小山三丈が付け、中村時蝶丈らに化粧師として来て頂く。浄瑠璃竹本秀太夫さん、下座田中左喜次さん社中、皆さん歌舞伎座で演奏していた方で、手作りの大道具と学生役者の他は、全て本物だった。

役者稽古は「本読み」から始まる。女形の私はこれに苦労した。大きく高い裏声で、独特の科白回し(口跡)をする。何とかマスターすると、次は所作(演技)指導が待っている。親指を掌に隠し手を小さく見せ、腰を落とし小幅に歩き、肩甲骨をつけ上半身を伸ばす、視線は流し目で、優雅な女性の仕草を心掛けねばならない。舞踊の心得のない私は所作が下手で、小山三丈から駄目出しを食らった。「ほら、手!手!なにやってるの!それと腰は!落として、違う、違う、何度言ったら分かるの!足がはだけちゃってるじゃない!」久しぶりの男子の「赤姫」、女形である小山三丈の指導は物凄かった。

本公演、初めての鬘(地は真鍮)と赤姫の衣装(真紅に流水四季花)は、その重さに思わずよろけてしまった。口跡はこなししたが、やはり所作、惨憺たるものだった。でも、小山三丈は「学生にしてはよく出来たじゃない」と誉めてくださった。又、各大学研究会の女子学生達(本学の研究部も)から、多くの花束を貰った。

その後、私は以前にも増す「歌舞伎フリーク」となった。そして、深く江戸文化・文学を学ぶ為、近世文学研究の泰斗、水野稔先生のおられた一部日本文学科へ編入学を企て、幸い合格、仕事も新聞社の「夜間学生編集補助」となり、働きながら学ぶ日々が始まった。とにかく、歌舞伎と江戸文学に明け暮れた学生時代だった。そうして今に至っている。

出会いは財産

家政学科助教授 松本 美鈴

私は、女子大の家政学部食物学科で学生生活を送りました。同級生は、26名でした。入学して直ぐに、教官が一堂に会した学科説明会、4年生を中心とした上級生主催の歓迎会、八王子セミナーでの一泊オリエンテーションなどの学科行事が次々にあり、上京して間もない私も自然に新しい環境に馴染んでいきました。

2年生になると、いよいよ専門科目の授業が始まります。食物学科の専門科目には、講義のほかに実験・実習があります。美容院から譲ってもらい髪の毛のたんぱく質を定量したり、きゅうりにのおいをガスクロマトグラフィーで分析したり、培養した米麹菌で飯を発酵させて甘酒を作ったりしました。なかでも、調理学実習は、食物学科らしい科目であり、鍋で飯を炊くことから始めて、3年間続きました。かつおのたたきを作るためにかつおをおろしたら腹腔から多数の白い寄生虫が出てきたり、とさかや爪の付いた鶏1羽を解体したり、生まれて始めてナマコに触ったり、焼売を皮から作ったりと、いろいろな体験をしました。実験・実習の授業は、通常午後の3、4限目が当てられていたので、納得いく実験結果が得られる頃には、窓の外は暗くなっていることが往々にしてありました。実験室の床は油臭い板張り、実験台はところどころ薬品で変形し、椅子も十分に揃っておらず、機器も決して整っていませんでしたが、学生は皆一人前の研究者のごとく実験することを楽しんでいました。まだ十分な知識もなく未熟でしたが、グループのメンバーと実験結

果について意見を交わしながら考察したり、実験レポートをまとめたり、クラス発表したことは、充実した時間であり、懐かしい思い出です。

4年生になると、私たちは研究室ごとに分かれます。私は、比較的歴史が浅く、学際的な研究領域であり、複雑な系である食べ物をそのまま研究対象とする調理学の研究室を選びました。調理研は、教授を筆頭にメンバー全員が女性であり、学生や内地留学の先生を合わせると総勢20名ほどの大所帯でした。月曜日から土曜日まで、朝から晩まで、一週間の殆どを研究室で過ごしていると、研究室のメンバーは先生を親とする家族のような関係になります。特に、私の担当教官は、パワフルで愛情豊かな母親のようで、耳の痛い指摘を数限りなくされました。「あなたの書く文章は、簡単不明瞭。」「鵜呑みにしないで、物事は疑ってみなさい。本に書かれていることは必ずしも真実ではないのよ。」「何故そうなるのか、常に理由を考えなさい。」など、学ぶ基本姿勢を教えられました。

調理研での学生時代は、先生、先輩そして同級生との出会いを通して、自分を見つめ、これからの生き方を考えた時期でした。ここで出会った人々は、今でも私に刺激を与えてくれる貴重な存在であり、人生の財産です。4年生の時に調理研を選ばなければ、修士課程に進学しなかったし、その後教員にもなっていなかったでしょう。



食物学科卒業謝恩会にて

シリーズ
卒業生はいま… 第6回

シャンソン 歌手

1970年 国文学科卒業 朝倉 まみさん

あれから・・・

フランスの歌、シャンソンを歌っています。コンサートやディナーショウ、イベントに招かれて歌ったり、スクールコンサートに出かけたり、一期一会をかみしめる日々です。仕事と言うものはなんでもそうなのでしょうが、今日うまく行っても明日もうまくいくという保障がありません。一回一回、一つ一つの結果がすべてです。ふと因果な仕事を選んだものだと思うこともあります。風邪もひけませんし、衣装を忘れたり、切符の売れゆきを心配していたり、歌詞を忘れたら・・・なんて夢もみましますし、緊張もしています。それでも逃げ出さないで歌っているのは、歌が好きなのですね。

思えば短大を卒業してから、それまでの時間以上の月日がとうに流れました。卒業時にきちんと進路を見つけれなかった私は、親に隠れて新劇や歌の道に志をたて、学習塾講師、秘書を経て、突破口になればとシャンソンコンクールを受けました。そしてそこでのグランプリ受賞が幸いにもその後の道を開いてくれたというわけです。またそのときの歌が「声のない恋」という手話を交えての歌でしたので、歌を手話と



共に届けて欲しいというお話が舞い込み、バリアフリーコンサートで歌うことも増えました。そこがほかのシャンソン歌手の皆さんと違う活動で、二足のわらじのようで悩んだこともありましたが、重ねた時間の中で自然に解決したように思い

ます。また手話でのコンサートではシャンソンのコンサートとは違った出会いをいただきましたから、そのことは単身で社会や地域とのつながりの薄かった私に社会人としての視点をもたらしてくれました。歌と共にお話をなんて言われるのは、バリアフリーコンサートで学んできたこと、感じてきたことを伝えていたからでしょう。シャンソンとともに手話でシャンソン！ 幼稚園や保育園の皆さんから生涯学習などあらゆる年代の皆さんの中で何をどう届けられるのか考える日々です。“心に太陽、くちびるに歌、生活の中にシャンソン！” いろんなことがあります。それでも“人生は美しい”と歌いたい。今年は秋(11月11日)の朝日ホール・マリオンでのコンサートにむけて走ります。



朝倉 まみ(あさくら まみ)

1970年3月 青山学院女子短期大学 国文学科卒業。

シャンソン歌手として全国でコンサートを開催する一方で、講演会・手話講習会等でも精力的に活動し、本学でも手話講習会(課外活動プログラム)を実施。著書『手話でシャンソン!声のない恋』(福村出版)

【CD】

朝倉さんのCD

『Les chansons d' amour

——あなたへのラブソング——』(MOA)



絵本作家

1986年 児童教育学科卒業 田内 英理子 さん

保育をしていた10年間、本当によく遊んだ。幼い友人たちと遊び、休みといえば旅に出、寝る間を惜しんで本を読み、織っていた日々、楽しかった!! 遊びながら、不思議な縁に導かれて、ここに辿り着いた、そんな気がする。就職した年の夏、祖父がお盆のお菓子を勧めながらもらった「昔は田んぼも何人も人の手でばかりしていたけれど、こういう菓子も作ったけどな」という言葉。そうだ、私がしたいのはそういう暮らしだ。四季折々の仕事を丁寧にする生活。幼い子どもたちが、今のこのくらしに辿り着くまでの旅の道連れだったのかもしれない。その好奇心や発見に共にわくわくしながら生活していた。

草木染めに出会ったのは保育がきっかけだった。染織を習った工房で、絁布を知る。両親の故郷にも久留米絁があり、曾祖母も大きな機で家族の着物を織っていたそう。絁は特別な道具が要らず、普通の家庭の主婦が家族の健康を願いながら柄を織り出していける布。友禅のような華やかさはないけれど、その力強さに惹かれる。結婚して子どもを生み、夫を海に送り出すようになって初めて、私は“祈る”ということがわかった気がする。そして遠い昔から、女たちが手仕事に祈りを込めながら家族を守り、子を育み、命を継いできたことも。私もその列に連らなり命を守ってこよう。

ところで、私の二人の子どもはアトピーがあり食べ物で湿疹が出る。



卵などの食品に加え、添加物や化学調味料、残留農薬にも敏感に反応する。食事を整えるために、まず安全な食品や食べ方を知る必要があった。毎日の食事作りと保存食作り-季節の漬け物や干し物など-、食べるということは手がかかる。また湿疹の手当てには、よ

もぎやピワの葉を使うのだが、先人の知恵と自然の力はありがたい。それに、病気が母親のきもちひとつでひどくなったりよくなったりする不思議。手をかけ心をかけなければ、命を守れない。そして安全な食品が普通に買えないというおかしさは、日本の国のありかたとつながっていることにも気付かされた。

今私は、吉岐の島で漁を支えるくらしをしている。私がしたかったくらしだ。いいことばかりではないけれど、授かりを感謝しながらくらせる幸せな毎日。海辺のくらし、祈りのある神・仏・祖先を身近に感じられるくらしのあれこれを友人たちに書き送った“初瀬だより”から『いかつりぶね』という絵本が生まれた。人は心から願ったことはいつか叶うのだ、仕事(天職)も力がついて時が来たらむこうからやってくるのだよと、若い私に言ってくれた人がいる。雑用という仕事はない、みんな保育につながる大切な仕事と戒めた先輩保育者。学生時代を共に過ごし蒔かれた種を花開かせている友人たち。家族。たくさん支えと励ましがあつた、今の私がある。こうして生かされていることに、感謝。



吉岐の島の漁生活を描いた『いかつりぶね』(本学図書館 請求記号909.9/H85/1)

田内(旧姓 猿渡) 英理子(たうち えりこ)

1986年3月 児童教育学科卒業。幼稚園教諭として勤務後、結婚を期に'99年3月より吉岐市(長崎県)に暮らし始める。絵本『いかつりぶね』(福音館書店)を2004年6月に出版。

2005年度 行事予定

前 期		後 期	
4月 2日(土)	履修指導(2年)	9月 15日(木)	後期授業開始
4月 4日(月)	入学式	9月 15日(木)・16日(金)	選択科目履修登録
4月 5日(火)	始業礼拝	10月 11日(火)	ランチタイムコンサート
4月 5日(火)～ 8日(金)	履修指導	10月 29日(土)	後期チャペル・コンサート
4月 6日(水)・ 7日(木)	健康診断	10月 29日(土)・30日(日)	青山祭(10/28～31青山祭期間授業休講)
4月 11日(月)・12日(火)	1年生学科オリエンテーション(J・E・H・L) (Hは12日のみ)	11月 14日(月)	創立記念礼拝
4月 13日(水)	始業講演・前期授業開始	11月 16日(水)	青山学院創立記念日(授業休講)
4月 14日(木)・15日(金)	選択科目履修登録	11月 25日(金)	クリスマス・ツリー点火祭
4月 23日(土)	キリスト教活動 春の研修・親睦会	11月 26日(土)	秋期プレイディ
4月 26日(火)	グリーンパーティ	12月 21日(水)	クリスマス礼拝
5月 12日(木)・13日(金)	1年生学科オリエンテーション(C・A)	12月 22日(木)	授業終了(補講日12月17日(土))
5月 21日(土)	春期プレイディ	12月 26日(月)～ 1月 7日(土)	冬期休業
5月 25日(水)	宗教講演	1月 10日(火)	授業再開(10日は月曜日の振替授業)
5月 26日(木)	前期チャペル・コンサート	1月 17日(火)	後期授業終了
7月 15日(金)	前期授業終了(補講日7月16日(土))	1月 18日(水)～31日(火)	後期定期試験
7月 19日(火)～25日(月)	前期定期試験	2月 1日(水)～ 3日(金)	天城冬の集い
7月 26日(火)～9月 14日(水)	夏期休業	3月 16日(木)・17日(金)	リーダーズキャンプ
7月 26日(火)～28日(木)	サマー・キャンプ・イン軽井沢	3月 22日(水)	卒業礼拝
		3月 23日(木)	卒業式・修了式

◎就職ガイダンス・講座の予定

第1回就職説明会	就職活動の説明、前年度求人・内定状況の資料 配付など	1年次 11月～
内定者による就職活動報告会	各企業に内定した先輩の体験談報告、個別の質疑応答	
就職試験筆記対策講座	SPIなど就職試験頻出問題の解法を講義形式で解説	春休み
就職試験対策模試	自身の弱点発見・強化を促す	
エントリーシート対策講座	自己PRや志望動機などの効果的な表現方法について	
第2回就職説明会	採用動向や学校推薦についての説明、就職登録用紙の配付	2年次 4月頃
卒業生による就職相談会	OG、人事担当者が来校し、事業内容や採用方法について説明	
公務員試験ガイダンス	公務員の種別や試験について解説	

◎事務取扱・施設利用時間のお知らせ *日曜・祝日はお休みです*

教務課・学生課・庶務課

平日:9:00～16:30 (現金取扱は16:00まで)

土曜:9:00～12:00 (現金取扱は11:00まで)

※長期休暇中の事務取扱時間は学生情報端末・掲示等でお知らせします。

図書館 <http://www.agulin.aoyama.ac.jp>

平日:8:30～19:00 土曜:9:00～13:00

※開館日、開館時間が変更になる期間がありますので、ホームページをご覧ください

情報処理実習室・マルチメディア教室

平日:9:00～18:00 (マルチメディア教室のみ19:00まで)

土曜:9:00～13:00

教育メディア運用室 <http://www.luce.aoyama.ac.jp/media-info/>

平日:9:00～17:00 土曜:9:00～12:00

※スケジュールなどは窓口近くの掲示板、またはホームページをご覧ください

ギャラリー展覧会案内

■4/4(月)～13(水)……[2005年度 校友会 クラブ紹介展]

—校友会・公認クラブを紹介する作品展です—

(14日(木)～15日(金)は選択科目履修登録の会場となります)

■4/19(火)～28(木)……[国連難民 (UNHCR) 写真展]

—世界の難民の人々の姿を著名な写真家たちが紹介します—

■5/9(月)～20(金)……[教養学科展]

—教養学科からパネルによる展示があります—

■5/23(月)～6/3(金)……同窓会[第22回 さつき会展]

—大先輩の卒業生の方々からさまざまな力作が展示されます—

■6/6(月)～24(金)……短大企画美術展[美術系教員作品展]

—本学の先生方の作品を見ることができるとの機会です—

■6/27(月)～7/8(金)

……[16th おーる あおやま あーと てん '05]

—キリスト教美術展として、幼稚園児～大学生まで青山学院全体の作品がご覧になれます—

■7/11(月)～22(金)……[芸術学科'05]

—芸術学科の授業で制作した作品が展示されます—

編集後記

今年も桜の季節に新入生を迎える時になりました。

学生時代を含めて青山学院に通うようになって30数年。春のこの季節が一番晴れやかで気に入っています。青山学院は都会の中にある狭いキャンパスですが、短大中庭の紅白の梅に始まり、こぶし、木蓮そして桜、さらには幼稚園の庭には海棠が花開きます。

5月には銀杏並木の若芽が鮮やかな緑になります。新しく青山学院の一員となられた新入生の方々も学内でお気に入りの樹木や場所を見つけられるようにと願っています。

(寺村 眞佐子)

編集委員 奥井 正司 奥村 健一 志賀 智江
田口 恵子 寺村 眞佐子 宮内 華代子

※次回発行は7月の予定です。